

第135期

中間事業報告書

平成16年4月1日から平成16年9月30日まで



株式会社 **ニッカー**



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素は格別のご支援をたまわり厚くお礼を申し上げます。

ここに当社第135期（平成16年4月1日から平成16年9月30日まで）中間事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期におけるわが国の経済は、素材産業を中心にした昨年後半からの好調さが、オリンピック効果や猛暑の影響などもあり、他の分野にも波及いたしてまいりましたが、一方では、原材料の価格が中国経済の過熱の影響で、大幅に上昇いたしました。

このような状況のもとで、当社は社内の合理化で増大するコストの削減を図るとともに、新規分野での顧客開拓を積極的に推進してまいりました。

この結果、売上高につきましては37億610万円、前年同期比23.8%の増収となりました。

部門別では、セラミックス部門は26億6,168万円、前年同期比21.7%の増収となり、耐摩耗セラミックス31.4%、耐熱セラミックス28.0%と2品種は大幅に、また機能性セラミックスは4.5%とそれぞれ前年同期を上回りました。なお、理化学用陶磁器その他は当中間期には目立った大口の売上が無かったことから、前年同期を26.9%下回る結果となりました。この部門の市場別売上構成比率は、電子部品・半導体向けは、この分野の活況を受け57.9%と比率を上げ、化学・窯業・鉄鋼向けは16.6%、環境・エネルギー向けが10.7%と、それぞれ売上高は増加いたしましたものの、電子部品・半導体向けの大幅な増収の影響で、比率を下げる結果となりました。

エンジニアリング部門も、長らく低迷いたしておりましたが、徐々に企業の設備投資が活性化してまいりましたことを受け、売上高は10億4,442万円と前年同期比29.5%の増収となりました。特に加熱装置は3億82万円と前年同期比倍増の102.7%の増収となりました。また、計測機器その他も13.0%の増収になりました。市場別売上構成比率では、電子部品・半導体向けが44.0%、自動車・重機向けが17.4%と、それぞれ前年同期に比べ比率が下がりました分、燃料電池向けの石炭利用水素発生装置が寄与した、環境・エネルギー向けは24.0%と比率を上げました。

損益面につきましては、売上高の増加に伴い工場の稼働率が大幅に上がったことなどによりコストアップ分を吸収し、営業利益は5億3,923万円となり、前年同期比84.2%の増益、経常利益も5億5,411万円となり、前年同期比60.7%の増益となりました。税引前中間純利益は、昨年度に引き続き大きな特別損失なども発生しなかったこともあり、5億4,427万円と前年同期比66.6%の増益となりました。

当中間期の配当につきましては、予定通りの1株につき5円とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、国内の景気は全体的には好調さを保っているものの、当社の主力客先である電子部品・半導体業界におきましては、夏以降減産状態が続き、今期中の回復は期待出来ない状況にあります。一方、デフレにつきましても相変わらずの状態、我々を取り巻く環境は一層の厳しさが予想されます。

このような状況のもとで、当社は引き続き全部門をあげて、将来伸びが期待出来る分野への積極的な営業を図るとともに、コスト削減にも努めてまいります。

通期の業績見通しにつきましては、売上高74億円（前期比14.5%増）、経常利益10億円（前期比37.7%増）、当期純利益5億8千万円（前期比60.2%）、期末配当につきましては7円を予定しております。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻をたまわりますようお願い申し上げます。



取締役社長

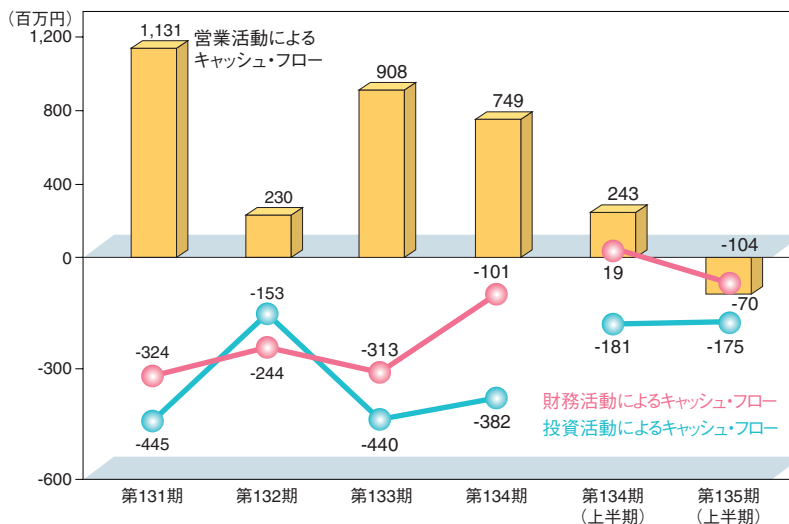
西村 隆

キャッシュ・フロー

当中間期の営業活動によるキャッシュ・フローは、純利益が大幅に増加しましたものの、増収に伴う売上債権の大幅な増加とたな卸資産の増加に加え、買掛金に対する期日前支払を実施しましたことで仕入債務が減少し、残念ながら前年同期比347百万円減少の△104百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資のペースがやや遅れておりますが、有価証券の取得があり、△175百万円と前年同期比7百万円増加の支出額となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の調達を短期借入金の100百万円に止めたため、前年同期比88百万円減少の△70百万円となりました。

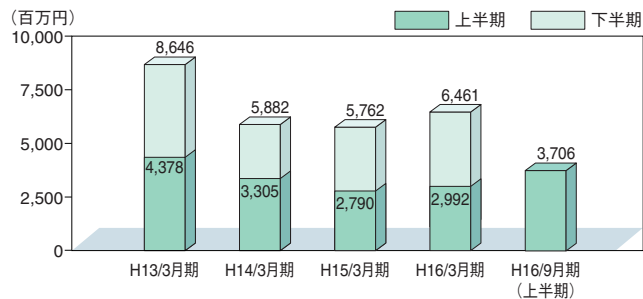


業績の推移

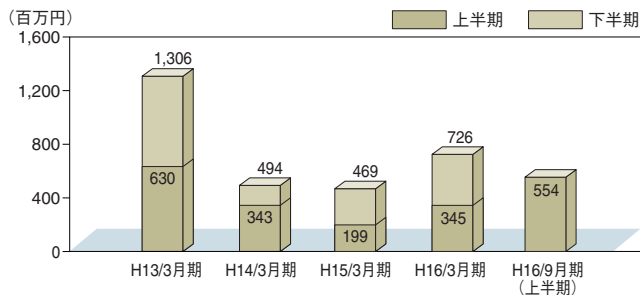
項目	平成14年3月期 第132期	平成15年3月期 第133期	平成16年3月期 第134期	平成15年9月期 第134期	平成16年9月期 第135期
受注高(千円)	5,305,469	5,766,236	6,841,196	3,163,625	3,958,074
売上高(千円)	5,881,658	5,761,551	6,460,835	2,992,423	3,706,100
経常利益(千円)	493,766	469,466	725,965	344,904	554,114
中間(当期)純利益(千円)	160,094	142,868	361,628	171,491	326,907
1株当たり中間(当期)純利益(円)	16.59	13.16	36.11	18.39	35.08
純資産(千円)	4,251,584	4,214,399	4,548,359	4,362,871	4,783,901
総資産(千円)	6,507,362	6,617,943	7,255,972	6,898,052	7,383,148
総資本経常利益率(%)	6.9	7.2	10.5	10.0	15.0
株主資本利益率(%)	3.8	3.4	8.3	7.9	13.7
総資本回転率(回)	0.83	0.88	0.93	0.87	1.00

(注) 第133期から1株当たり当期純利益の計算については、当期純利益から普通株主に帰属しない金額を控除して算出してあります。

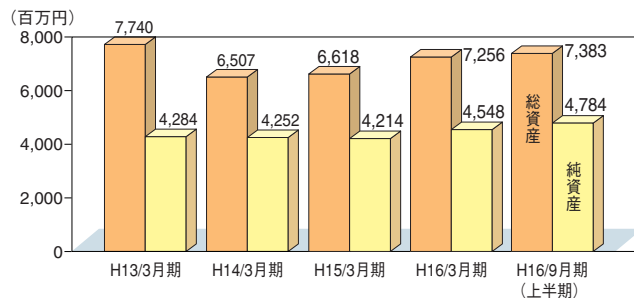
売上高



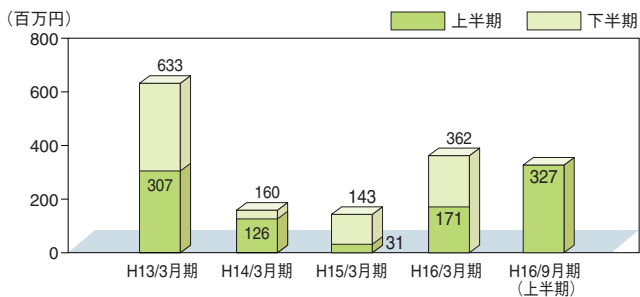
経常利益



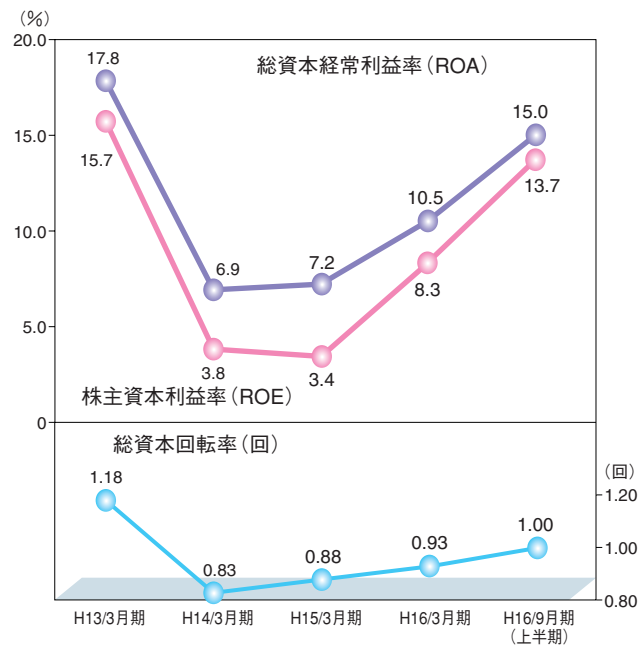
総資産・純資産



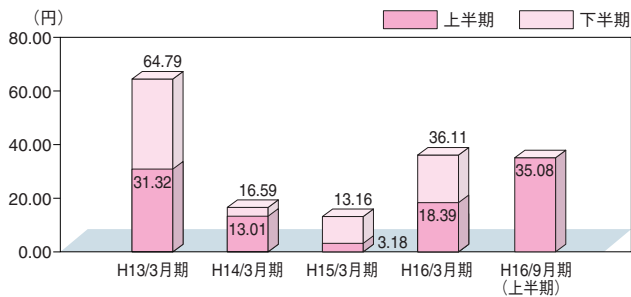
中間(当期)純利益



株主資本利益率、総資本経常利益率と総資本回転率



1株当たり中間(当期)純利益



中間貸借対照表

資 産 の 部				
科 目	期 別	当 中 間 期 (平成16年 9月30日現在)	前 中 間 期 (平成15年 9月30日現在)	前 期 (平成16年 3月31日現在)
流 動 資 産		4,946,204	4,309,505	4,757,448
現 金 預 金		955,240	1,012,688	1,232,712
受 取 手 形		992,707	814,703	769,146
売 掛 金		1,688,170	1,337,162	1,612,860
有 価 証 券		100,492	101,284	101,289
商 品 ・ 製 品		582,626	463,946	411,471
その他のたな卸資産		510,448	490,383	533,380
繰 延 税 金 資 産		116,042	88,329	108,926
そ の 他		16,376	3,808	3,659
貸 倒 引 当 金		△15,900	△2,800	△16,000
固 定 資 産		2,436,944	2,588,546	2,498,523
有形固定資産		1,881,922	2,036,575	1,920,567
建 物		851,034	912,325	877,918
機 械 装 置		775,103	810,943	764,797
土 地		72,839	72,839	72,839
そ の 他		182,944	240,466	205,012
無形固定資産		18,257	31,235	23,202
投資その他の資産		536,763	520,735	554,753
投 資 有 価 証 券		232,255	189,759	246,429
事 業 保 険 掛 金		56,052	57,060	57,261
繰 延 税 金 資 産		166,748	174,230	149,595
そ の 他		81,707	99,685	101,467
資 産 合 計		7,383,148	6,898,052	7,255,972

(単位：千円未満切り捨て)

負債の部			
科目	期別 当 中 間 期 (平成16年9月30日現在)	前 中 間 期 (平成15年9月30日現在)	前 期 (平成16年3月31日現在)
流動負債	1,974,348	1,811,696	2,034,256
買掛金	966,174	949,532	1,110,440
短期借入金	100,000	24,000	—
1年以内返済予定の長期借入金	165,500	206,000	202,900
未払消費税等	24,681	29,647	47,402
未払法人税等	257,473	157,541	237,754
賞与引当金	220,000	180,000	204,000
その他の	240,519	264,974	231,759
固定負債	624,898	723,484	673,355
長期借入金	70,800	198,900	144,800
退職給付引当金	485,365	456,394	459,912
預り保証金	68,733	68,190	68,643
負債合計	2,599,247	2,535,181	2,707,612
資本の部			
資本金	823,240	823,240	823,240
資本剰余金	590,920	590,920	590,920
資本準備金	590,920	590,920	590,920
利益剰余金	3,442,706	3,043,872	3,196,719
利益準備金	205,810	205,810	205,810
任意積立金	2,752,000	2,563,000	2,552,000
退職手当基金	172,000	183,000	172,000
別途積立金	2,580,000	2,380,000	2,380,000
中間(当期)未処分利益	484,896	275,062	438,909
株式等評価差額金	44,868	20,154	53,826
その他有価証券評価差額金	44,868	20,154	53,826
自己株式	△117,835	△115,317	△116,347
自己株式	△117,835	△115,317	△116,347
資本合計	4,783,901	4,362,871	4,548,359
負債および資本合計	7,383,148	6,898,052	7,255,972

中間損益計算書

(単位：千円未満切り捨て)

科 目		期 別	当 中 間 期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)	前 中 間 期 (平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)	前 期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)
経常損益の部	営業損益	売 上 高	3,706,100	2,992,423	6,460,835
		売 上 原 価	2,601,410	2,126,613	4,596,364
		販売費および一般管理費	565,460	573,110	1,149,252
		営 業 利 益	539,230	292,698	715,218
	営業外損益	受取利息および配当金	4,376	1,332	2,265
		地域新規産業創造技術開発補助金	7,190	49,715	6,182
		そ の 他 の 収 益	5,883	4,176	11,015
		支 払 利 息	1,287	2,408	4,467
		そ の 他 の 費 用	1,279	609	4,249
		経 常 利 益	554,114	344,904	725,965
特別損益の部	特 別 利 益	100	—	—	
	特 別 損 失	9,947	18,185	50,625	
税引前中間(当期)純利益		544,266	326,719	675,339	
法人税、住民税および事業税		235,800	169,800	346,700	
法 人 税 等 調 整 額		△18,441	△14,572	△32,988	
中 間 (当 期) 純 利 益		326,907	171,491	361,628	
前 期 繰 越 利 益		157,989	103,570	103,570	
中 間 配 当 額		—	—	37,289	
退職手当基金目的取崩額		—	—	11,000	
中間(当期)未処分利益		484,896	275,062	438,909	

商品紹介

高純度マグネシアルツボ

当社は長年に亘り高温域下での金属溶解用ルツボとして高純度マグネシアルツボを生産し、鉄鋼、非鉄などの金属メーカー各社へ供給しています。

昨今ビデオテープの普及により生産で使用されるCo真空蒸着装置のCo溶解ルツボの需要が家庭用ビデオの普及に伴い大きく伸びてきました。

現在、記録媒体がビデオテープからDVDへ移行しており当分野での市場規模は縮小の傾向にありますが、コンピューターなどによる情報管理方法として安全性やコンパクトな面から改めてテープ方式の記録媒体の需要が急激に立ち上がってきましたことでルツボの需要が大きく伸びてきております。

当社としては顧客各社との製品、材質改善提案をこれからも継続していくことにより更なる信頼のある製品の供給に努めています。

防水対応型スリップリング

本機器は、自動二輪および自動車関連の回転を伴う各部所の、主に温度、歪、トルク等のデータを集録機器まで低ノイズで信号を伝える事の出来る機器です。

回転数は8000rpmまで、極数は2～6極を用意し、シャフト径も18φ～58φまで取り揃えており、また他に類を見ない防水対応が最大の特長となっております。



高純度マグネシアルツボ



防水対応型スリップリング

株式の状況 (平成16年9月30日現在)

● **会社が発行する株式の総数**
37,280,000株

● **発行済株式総数**
9,668,814株

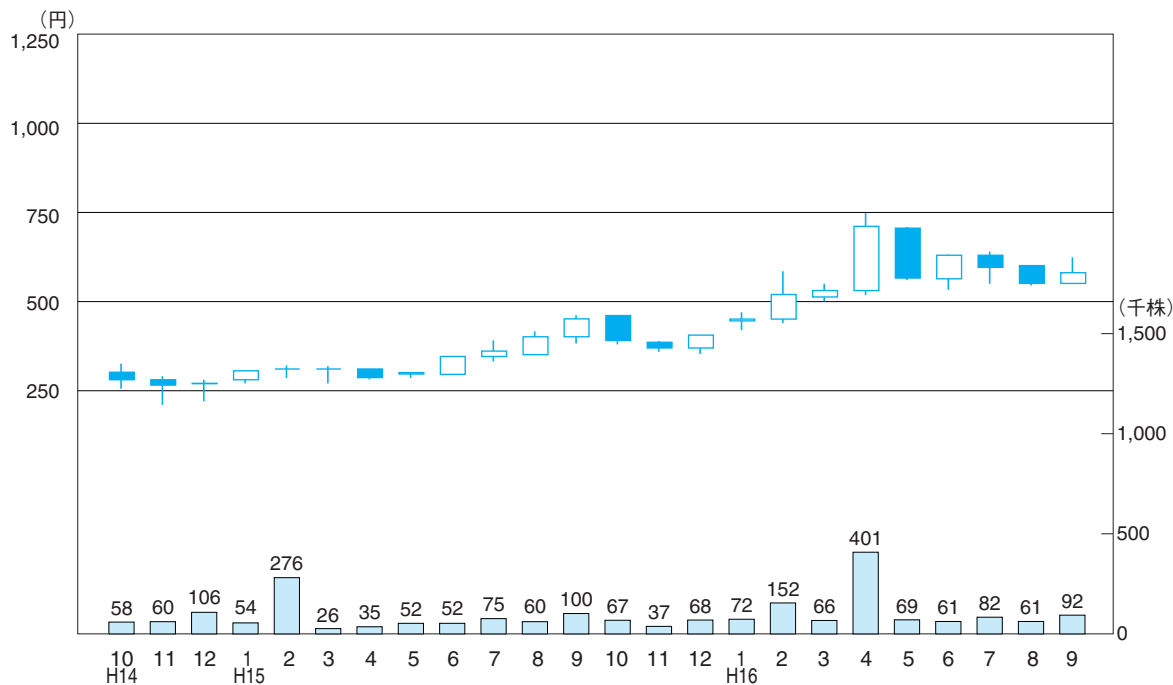
● **株主数**
2,029名

● 大株主

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
株式会社みずほ銀行	454	4.99
朝日生命保険相互会社	321	3.53
ニッカトー取引先持株会	312	3.43
西村合資会社	270	2.97
ニッカトー従業員持株会	265	2.91
西村 明	225	2.47
入江 照 四	137	1.50
新光証券株式会社	134	1.47
西村 ゆり子	105	1.15
五日市 サト子	101	1.11

上記の他、当社所有自己株式が351千株あります。

● 株価・株式売買高



会社の概要 (平成16年9月30日現在)

NIKKATO

● 創業	大正2年6月	
● 資本金	8億2,324万円	
● 事業の内容	セラミックスおよび計測機器・加熱装置の製造・販売	
● 事業所	本社	〒590-0001 大阪府堺市遠里小野町3丁2番24号 ☎(072)238-3641
	東京支社	〒112-0012 東京都文京区大塚5丁目7番12号(NKビル新大塚) ☎(03)5978-3500
	セラミックス営業本部	〒590-0001 大阪府堺市遠里小野町3丁2番24号 ☎(072)238-4681
	名古屋営業所	〒465-0092 愛知県名古屋市名東区社台3-247(第3名昭ビル) ☎(052)777-9091
	仙台営業所	〒981-3135 宮城県仙台市泉区八乙女中央1-7-5 八乙女オフィスビル ☎(022)776-7651
	水戸営業所	〒310-0801 茨城県水戸市桜川1丁目5番3号(岩上ビル) ☎(029)224-7512
	富山営業所	〒939-8211 富山県富山市二口町5-4-1(テフィスC) ☎(076)421-0770
	九州営業所	〒810-0062 福岡県福岡市中央区荒戸2丁目4番21号(ワカバビル) ☎(092)736-1285
	堺工場	〒590-0001 大阪府堺市遠里小野町3丁2番24号 ☎(072)238-3643
	東山工場	〒599-8247 大阪府堺市東山670番地 ☎(072)278-0385

役員 (平成16年9月30日現在)

取締役会長	河波利夫	取締役	紀ノ岡隆一郎
代表取締役社長	西村隆	取締役	清水奉明
代表取締役	向井勇司	常勤監査役	東紘一
取締役相談役	西村明	※監査役	小林淑人
取締役	東秀雄	※監査役	中安克志
取締役	山本幸雄		

(注) ※印の監査役は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

会計監査人 清稜監査法人

株主メモ

決 算 期 3月31日

配 当 金 受 領 利益配当金 3月31日
株 主 確 定 日 中間配当金 9月30日

定時株主総会 6月

名義書換代理人 大阪市中央区北浜二丁目4番6号
株式会社だいこう証券ビジネス

同事務取扱場所 〒541-8583
大阪市中央区北浜二丁目4番6号
株式会社だいこう証券ビジネス
本社証券代行部
TEL 0120-255-100

同 取 次 所 株式会社だいこう証券ビジネス 各支社

公告掲載新聞 日本経済新聞

※貸借対照表および損益計算書掲載のホームページ
<http://www.nikkato.co.jp/zaimu/zaimu.htm>



この印刷物は、再生紙を使用しております。